

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 3 年 2 月 12 日 (2021.2.12)

【公開番号】特開 2020-168034 (P2020-168034A)  
【公開日】令和 2 年 10 月 15 日 (2020.10.15)  
【年通号数】公開・登録公報 2020-042  
【出願番号】特願 2019-69552 (P2019-69552)  
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 12 月 18 日 (2020.12.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

種々の演出表示が可能な表示手段を備え、  
前記表示手段とは異なる位置であり、かつ、遊技者が視認可能な位置に第 1 標章と第 2 標章とがそれぞれ個別に常時表示されている遊技機であって、  
前記第 1 標章は、機種名称の少なくとも一部を示す第 1 識別情報であり、  
前記第 2 標章は、機種名称とは異なる第 2 識別情報であり、  
前記第 1 標章の表示態様を、立体的かつ正面視で略水平状に表示される特定表示態様とし、  
前記第 2 標章の表示態様は、平面的かつ正面視で非水平状に表示される非特定表示態様とした、  
ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記第 1 標章は、複数文字で構成される文字標章であり、当該複数文字が 1 行で表示され、  
前記第 2 標章は、複数文字で構成される文字標章であり、当該複数文字が 2 行以上または 2 列以上で表示される、  
ことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記第 1 標章は、複数文字で構成される文字標章であり、当該複数文字の文字間隔が略同一であり、  
前記第 2 標章は、複数文字で構成される文字標章であり、当該複数文字のうち少なくとも一部の文字間隔が異なる、  
ことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記第 1 標章は、複数文字で構成される文字標章であり、当該複数文字の文字サイズが略同一であり、  
前記第 2 標章は、複数文字で構成される文字標章であり、当該複数文字のうち少なくとも一部の文字サイズが異なる、  
ことを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載の遊技機。

**【請求項 5】**

前記第 1 標章は、複数文字で構成される文字標章であり、当該複数文字の文字フォントが略同一であり、

前記第 2 標章は、複数文字で構成される文字標章であり、当該複数文字のうち少なくとも一部の文字フォントが異なる、

ことを特徴とする請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載の遊技機。

**【請求項 6】**

前記表示手段とは異なる位置であり、かつ、遊技者が視認可能な位置に、前記第 1 標章および前記第 2 標章とは異なる第 3 標章が常時表示されている遊技機であって、

前記第 1 標章は、少なくとも第 1 文字と第 2 文字とを含む 2 文字以上で構成される標章であり、

前記第 3 標章は、少なくとも第 3 文字と第 4 文字とを含む 2 文字以上で構成される標章であり、

前記第 1 標章と前記第 3 標章のいずれも、発光態様が変化可能に構成されるとともに、

前記第 1 標章は、前記第 1 文字と前記第 2 文字とを個別に発光可能に構成され、

前記第 3 標章は、前記第 3 文字と前記第 4 文字とを個別に発光不能に構成された、

少なくとも非遊技期間中における第 1 期間においては、前記第 1 標章における前記第 1 文字と前記第 2 文字をとともに発光させる、

ことを特徴とする請求項 1 ～ 5 のいずれかに記載の遊技機。

**【請求項 7】**

前記表示手段とは異なる位置であり、かつ、遊技者が視認可能な位置に、前記第 1 標章および前記第 2 標章とは異なる第 3 標章が常時表示されている遊技機であって、

前記第 1 標章は、少なくとも第 1 文字と第 2 文字とを含む 2 文字以上で構成される標章であり、

前記第 3 標章は、少なくとも第 3 文字と第 4 文字とを含む 2 文字以上で構成される標章であり、

前記第 1 標章と前記第 3 標章のいずれも、発光態様が変化可能に構成されるとともに、

前記第 1 標章は、前記第 1 文字と前記第 2 文字とをそれぞれ異なる系統色で発光可能に構成され、

前記第 3 標章は、前記第 3 文字と前記第 4 文字とをそれぞれ異なる系統色で発光不能に構成され、

少なくとも非遊技期間中における第 1 期間においては、前記第 1 標章における前記第 1 文字と前記第 2 文字を同一系統色で発光させる、

ことを特徴とする請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載の遊技機。

**【請求項 8】**

前記表示手段とは異なる位置に配置され、遊技の進行における所定のタイミングで変位可能な第 4 標章を備えた遊技機であって、

前記第 1 標章は、遊技の進行タイミングに関わらずその全体像が視認可能であり、

前記第 4 標章は、少なくとも遊技の進行における所定のタイミングにおいては、その全体像のうち少なくとも一部が視認不能である、

ことを特徴とする請求項 1 ～ 7 のいずれかに記載の遊技機。

**【手続補正 2】**

**【補正対象書類名】**明細書

**【補正対象項目名】**0 0 0 6

**【補正方法】**変更

**【補正の内容】**

**【0 0 0 6】**

本発明の上記目的は、下記的手段によって達成される。

( 1 ) 種々の演出表示が可能な表示手段を備え、

前記表示手段とは異なる位置であり、かつ、遊技者が視認可能な位置に第1標章と第2標章とがそれぞれ個別に常時表示されている遊技機であって、

前記第1標章は、機種名称の少なくとも一部を示す第1識別情報であり、

前記第2標章は、機種名称とは異なる第2識別情報であり、

前記第1標章の表示態様を、立体的かつ正面視で略水平状に表示される特定表示態様とし、

前記第2標章の表示態様は、平面的かつ正面視で非水平状に表示される非特定表示態様とした、

ことを特徴とする遊技機。

(2) 前記第1標章は、複数文字で構成される文字標章であり、当該複数文字が1行で表示され、

前記第2標章は、複数文字で構成される文字標章であり、当該複数文字が2行以上または2列以上で表示される、

ことを特徴とする上記(1)に記載の遊技機。

(3) 前記第1標章は、複数文字で構成される文字標章であり、当該複数文字の文字間隔が略同一であり、

前記第2標章は、複数文字で構成される文字標章であり、当該複数文字のうち少なくとも一部の文字間隔が異なる、

ことを特徴とする上記(1)または上記(2)に記載の遊技機。

(4) 前記第1標章は、複数文字で構成される文字標章であり、当該複数文字の文字サイズが略同一であり、

前記第2標章は、複数文字で構成される文字標章であり、当該複数文字のうち少なくとも一部の文字サイズが異なる、

ことを特徴とする上記(1)～(3)のいずれかに記載の遊技機。

(5) 前記第1標章は、複数文字で構成される文字標章であり、当該複数文字の文字フォントが略同一であり、

前記第2標章は、複数文字で構成される文字標章であり、当該複数文字のうち少なくとも一部の文字フォントが異なる、

ことを特徴とする上記(1)～(4)のいずれかに記載の遊技機。

(6) 前記表示手段とは異なる位置であり、かつ、遊技者が視認可能な位置に、前記第1標章および前記第2標章とは異なる第3標章が常時表示されている遊技機であって、

前記第1標章は、少なくとも第1文字と第2文字とを含む2文字以上で構成される標章であり、

前記第3標章は、少なくとも第3文字と第4文字とを含む2文字以上で構成される標章であり、

前記第1標章と前記第3標章のいずれも、発光態様が変化可能に構成されるとともに、

前記第1標章は、前記第1文字と前記第2文字とを個別に発光可能に構成され、

前記第3標章は、前記第3文字と前記第4文字とを個別に発光不能に構成された、

少なくとも非遊技期間中における第1期間においては、前記第1標章における前記第1文字と前記第2文字をとともに発光させる、

ことを特徴とする上記(1)～(5)のいずれかに記載の遊技機。

(7) 前記表示手段とは異なる位置であり、かつ、遊技者が視認可能な位置に、前記第1標章および前記第2標章とは異なる第3標章が常時表示されている遊技機であって、

前記第1標章は、少なくとも第1文字と第2文字とを含む2文字以上で構成される標章であり、

前記第3標章は、少なくとも第3文字と第4文字とを含む2文字以上で構成される標章であり、

前記第1標章と前記第3標章のいずれも、発光態様が変化可能に構成されるとともに、

前記第1標章は、前記第1文字と前記第2文字とをそれぞれ異なる系統色で発光可能に構成され、

前記第 3 標章は、前記第 3 文字と前記第 4 文字とをそれぞれ異なる系統色で発光不能に構成され、

少なくとも非遊技期間中における第 1 期間においては、前記第 1 標章における前記第 1 文字と前記第 2 文字を同一系統色で発光させる、

ことを特徴とする上記 ( 1 ) ~ ( 6 ) のいずれかに記載の遊技機。

( 8 ) 前記表示手段とは異なる位置に配置され、遊技の進行における所定のタイミングで変位可能な第 4 標章を備えた遊技機であって、

前記第 1 標章は、遊技の進行タイミングに関わらずその全体像が視認可能であり、

前記第 4 標章は、少なくとも遊技の進行における所定のタイミングにおいては、その全体像のうち少なくとも一部が視認不能である、

ことを特徴とする上記 ( 1 ) ~ ( 7 ) のいずれかに記載の遊技機。